

# 事業概要票

事例NO. 37（平成19年度発表）

事例キーワード

根株等の現地利用・  
在来種による緑化

事業名		流域循環資源林整備事業 森林管理道 森山猿田沢線	根株等の現地利用・ 在来種による緑化
事業担当機関		秋田地域振興局農林部森づくり推進課	
事業期間		平成7年度～平成23年度	
実施場所		五城目町内川小倉	
事業概要	全体事業費	1,530百万円	
	工事概要	総延長9,200m、幅員5m	
	事業の目的	近年の林道整備はコスト縮減を図りつつ、自然環境の保全や生態系・景観に十分配慮した路線配置とするエコリンドーであることが求められている。森山猿田沢線では、現地での作業で発生した根株等の現地有効利用と、自生在来種の導入を促す緑化を行うことで、エコリンドーを意識した取り組みを行っている。	
環境配慮の内容	① 現場発生の根株・伐採木等の利用		
	・ 本事業では現地で破碎・チップ化し、同現場で発生した土や肥料と混合させ法面緑化工の		
施工後の状況	② 自生在来種を導入した緑化		
	・ 外来種導入による緑化は繁殖性が高い一方で、周囲の自然環境への影響が懸念される。 ・ 自生在来種の導入を促すことにより、周囲の自然環境に配慮し、かつコストの縮減を図る。 ・ 本事業では、基盤材に混入する種子の数を減らすことによって、自生在来種の侵入・成長を促す緑化工とした。		

## 図面、写真、説明



① 現地で生じた根株等



② 現地で破碎・チップ化  
…基盤材として利用



③ 種子と混合し、吹きつけ

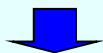
図面、写真、説明

④ 6月～11月の緑化の様子



・吹付後7ヶ月の状況

生チップ基盤材の堆肥化が進んでいて、風化・浸食は見られない



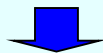
・吹付後8ヶ月の状況

周辺在来種の自生が見られる



・吹付後9ヶ月の状況

法面全体の緑化が進んできた



・吹付後12ヶ月の状況

周辺の自生在来種が繁茂

法面アップ